

工学部百周年記念展示室がオープン

平成23年9月5日（月）、伊都キャンパスウエスト4号館1階ロビーに九州大学工学部百周年記念展示室『CENTENNIAL GALLERY』がオープンし、オープニングセレモニーが開催されました。

本展示室は、九州大学工学部が創立

百周年を迎えるにあたり、その記念行事の一環として、これまでの歴史を振り返り、教育・研究上、価値の高いものを幅広く収集、保存し、一般に公開することを目的として設置されたもの

で、工学部が所有する貴重な史料や機器から常時約60点が展示されています。

オープニングセレモニーでは、

日野伸一工学部長が「この展示

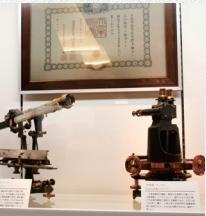
室は、九州大学

工学部の100年歴史を振り返るだけでなく、これから100年に向けて、弛まぬ努力を遂行する工学部の



教職員及び学生のシンボルとなるものです。大学関係者のみならず是非、多くの方に足を運んでいただきたい」との挨拶があり、善功企工学研究院教授の概要説明、有川総長の挨拶、関係者によるテープカットがあり、一般公開となりました。

会場には工学部出身の宇宙飛行士若田光一氏の企画展示もあり、入場者は工学部百年の歴史を伝える貴重な展示物に目を見張っていました。



九州大学工学部百周年記念展示室
『CENTENNIAL GALLERY』

■場所

九州大学伊都キャンパス
ウエスト4号館1階ロビー

■オープン時間

10時～17時

（土・日・祝日・12月29日～1月3日閉館）

■問い合わせ先

工学部総務課庶務係
092-8002-2708

サウジアラビア大使館文化部 文化アタッショ

平成23年7月21日（木）、サウジアラビア大使館文化部のイサム・ブカーリ文化担当アタッショが、倉地理事を表敬訪問しました。

今回の訪問は、サウジアラビア大使館から、サウジアラビアの大学と九州大学との協力関係の構築について懇談したいとの要望があり、実現したものです。

イサム氏よりサウジアラビアにおける高等教育の現状について説明があつた後、今後、研究者間および学生間の交流を深めていくこと等について意見交換が行われました。

マヒドン大学 理学部化学科教員5名

平成23年9月13日（火）、マヒドン大学理学部化学科のブラニー・ピンコチー准教授ほか4名の教員が、倉地理事を表敬訪問しました。

今回の訪問は、マヒドン大学と本学、特に理学研究院との協力関係構築や、シヨートヌティ・ダブルディグリーに関し、マヒドン大学理学部より懇談の希望があり実現したもので、先導物質化学研究所の永島英夫教授も同席し、グローバルCOEプログラムにより実施している学術交流の更なる発展や新しい学生交流プログラムの可能性等について意見交換が行われました。



マヒドン大学理学部



左から2人目が、イサム・ブカーリ氏